



岡山市長 大森雅夫の 大盛コラム

～躍動するまち おかやまの「今」をお届けします～



第17回 岡山市の財政状況 ～未来へ続くまちづくりのために～

「岡山市の予算は年々膨らむ一方だが、財政状況は大丈夫？」と心配される方もいらっしゃるのではないのでしょうか。財政の健康診断ともいえる「財政指標」。なかでも重要な「実質公債費比率」は、私が市長に就任した直後の平成25年度から大きく改善していて、他の政令指定都市と比較しても健全です。

保育園などの待機児童解消をはじめとした子育て施策の充実、産業振興、中心市街地の活性化など、「岡山市の元気につ

ながる投資」が、子育て世帯の収入増や民間活力を呼び込み、市民の暮らしの豊かさや経済成長を実現し、それが市税収入の増加につながり、さらに市民の皆さんの生活をより豊かにするための市の施策を可能にする好循環へとつながっています。

社会保障費の増加や公共施設の老朽化対策、災害などの不測の事態への備えといった、必要な貯金（財政のための基金）の確保や健全な財政を前提に、必要な施策をしっかりと行っています。

岡山市の実質公債費比率の推移



実質公債費比率とは？

収入に対する負債の返済割合のこと。比率が低いほど、負債の返済以外で自由に使えるお金が多いことを意味します。